

## 5-8 鉄道大臣、環境大臣、観光大臣との懇談

ハダル被災地の視察を共にした環境大臣らとイスラマバードへ戻る途中にマンセーラで再度合流し、被災状況について意見交換した。

また、ピース・ウインズ・ジャパンが取り組む救援活動において、テント輸送が滞っている問題について、懇談中に鉄道大臣がパキスタン航空社長や首相府関係者に電話し解決を試みた。

- 震災を受け今回初めて、関係大臣でチームを構成し、一緒に被災地を回っている。チームで動くことで様々な問題やニーズに素早く決断し対応できる。
- 政府は現在、テントビレッジ構想を推奨している。テントをばらばらに配布するのではなく、100から200のテントを1箇所に戻り、コミュニティにするというもの。テントの一部を公共トイレ、医療施設にする。
- テントコミュニティを設けることで、これまで支援が行渡っていなかった被災者へも公平かつスムーズに援助が届くようになる。